

Gallery PARC

ヤマガミユキヒロ

緻密な手仕事が、時間と風景の興行きを生み出すヤマガミユキヒロ作品の制作プロセス

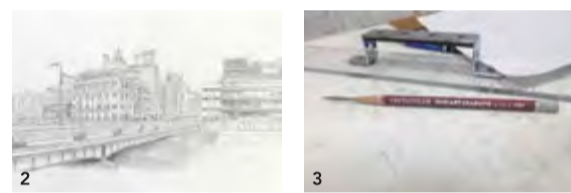


2013年、Gallery PARCでの展示。

2014年の、芦屋市立美術館での『窓の外、窓の旅。——風景と表現』、川崎市岡本太郎美術館『TARO賞の作家2』（2015年1月12日まで）と話題の展覧会への参加が続いているアーティストのヤマガミユキヒロ。その作品の面白さは、ある都市の風景を、同一視点から、絵画と映像という異なる技法で切り取って、再びひとつのキャンパスの上に重ね合わせる

「キャンバスプロジェクション」という手法。超現実なビジョンだが、その制作工程はアナログな手仕事。現場で動画と静止画を撮影し、それを鉛筆ドローイングに描いて、その上にプロジェクターにより動画を投影して重ねる。この長時間の作業の中で、被写体となった都市への思いが、作家の手を通して作品に投影され、豊かな作品の興行きになってゆくのだ。

初公開! ヤマガミユキヒロ作品のつくり方



1.対象となる風景を写真と映像により撮影。撮影は朝昼夜、四季を通じて繰り返し重ねられる。京都、四条大橋での取材風景。2&3 撮影した写真を基に鉛筆による線描でドローイングを描く。撮影時にレンズによって生じた歪みを定規で修正しながらの緻密な作業だ。4.ドローイングに映像を重ねた状態。人影や雲などのうつろいが絵画の中でひとつになる。

「ヤマガミユキヒロ 展」

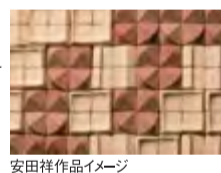
●Gallery PARC 2015年 5月 15日(金)～5月 31日(日)
2014年の芦屋市立美術館・川崎市岡本太郎美術館での発表作品とともに、新作を展示予定。

Gallery PARC

GRAND MARBLE

Gallery PARC 2015年上半期のスケジュール

1月10日(土)～1月25日(日)
「partial:安田祥 展」(陶)
個々の「陶」の集積により、空間に「壁」を出現させるインスタレーション。



安田祥作品イメージ

2月6日(金)～2月22日(日)
「World in Motion:前谷康太郎 展」(映像)
京都市内を舞台に開催される映像芸術祭 "MOVING2015" 参加プログラム。



2012年の山本聖子個展の会場風景

3月3日(火)～3月22日(日)
「山本聖子 展」(インスタレーション)
メキシコ、オランダでのレジデンスを終え、帰国後初めての個展。異なる国・人種に内在する社会的意識や問題に触れる映像作品を中心に発表。

Gallery PARCでは、学生や若いクリエイターへの発表場所の提供や広報活動の支援をはじめ、アート・工芸・デザイン・写真・映像・パフォーマンスなどの展覧会やワークショップの開催を通じ、京都の文化の継承と創造に向け、様々な支援に取り組んでまいります。

3月24日(火)～4月12日(日)「西山裕希子 展」(インスタレーション)
ろけつ染めなどを用いた絵画表現に取り組んできた西山裕希子が、ドイツでのレジデンスを経て新たな展開に取り組みます。



2012年の「原展2」での守屋友樹の展示風景

4月14日(火)～4月26日(日)
「守屋友樹 展」(写真)
京都国際写真祭のサテライト「KG+」への参加企画として開催する写真展の第一弾。

4月28日(火)～5月10日(日)
「妻生田兵吾 展」(写真)
「KG+」参加企画の第二弾。昨年に引き続き、妻生田兵吾の新作発表。

詳しいスケジュールはWEB参照
※展覧会のタイトルはいずれも仮です。また、内容・日時などは予告なく変更する場合がございます。

御池通	地下鉄京都市役所前駅
ル・グランマールカフェ クラッセ 2F Gallery PARC	
タリーズ ●1928ビル	三条通
御幸通	御幸通
寺町通	寺町通
御通	御通
	四条通

京都市中京区弁慶石町48(三条通御幸町西北角)三条あたりとビル
ル・グランマール カフェ クラッセ | 店舗内2F
Tel-Fax. 075-231-0706 11:00～19:00(金曜日のみ20:00まで) 月曜日
<http://www.galleryparc.com/>

糸で表現する、クリエイティブな糸ブランド、アヴリル

マールブランチ「結々 YuiYui」のパッケージに使われている糸。贈り物に優しさを添える、ほどよくしなやかで素朴な風合いが自慢です。これは京都の糸ブランド「アヴリル」で扱っているコットンギマという糸。アヴリルはさまざまな種類の糸を取り扱い、糸=編み物だけでなく、アクセサリーやインテリア、ラッピングなど、糸の表現を追求するブランド。京都の三条通にあるお店には、手芸未経験者も安心のキットがたくさん。講習会も随時行われているので京都でつくった小さな作品をお土産にしても。アヴリルは京都商工会議所によって「創造的文化産業(クリエイティブ産業)モデル企業」に選ばれています。



(左) マールブランチ「結々 YuiYui」のパッケージに使われている糸、コットンギマ。20種以上の色がそろう。(右) ブローチや髪飾りにもなるボンボンフラワーキット500円(税別)。

アヴリル三糸店
●京都市中京区三条通雷小路
SACRAビル3F
Tel.075-211-2446
11:00～20:00
(土日祝は19:00まで)
無休
<http://www.avril-kyoto.com>

Radio

「かわいい京都×伝統」special

MAKOTOが語る、かわいい祇園

「かわいい京都×伝統」、今回はspecialバージョンとして、祇園で活躍してきたMAKOTOさんから、とっておきの「祇園のかわいい」お話をお聞きました。

Sweet'n marble lovers



MAKOTOさんにとっては長年、慣れ親しんだ祇園の街。それを「かわいい」目線で見直してみたら? 「まず、人からいきまひよか…祇園の人たちのかわいいうところって、ご挨拶。道ですれ違ったら「どこ行かはんの?」。それに対する答えは「ちよつと、そこまで…」。「ほな、気がついて」と、見送るんです。相手のことを気遣いながら、プライベートに深くは踏み込まない。そんな柔らかい心遣いが「かわいい」と思いませんか? 昔、私はこのやりとりの意味が分からなくて、いちいちどこに行くのか説明してしまっ…(笑)。ご挨拶をメールや電話ですまきずに、直接お目にかかって口で伝える、というアナログな風習が残っているのも祇園の奥ゆかしさ。お会いできなかったら、伝言を一筆箋にしたためることもあります。街の風景で「かわいい」ものは? 「お店の軒先の赤い提灯。白い丸いかたちを繋げたデザインは「つなぎ団子」と言うんですよ。それと、やっぱり舞妓さんのかんざし。1月松の内は稲

穂と干支(えと)をつけた松竹梅のかんざし、2月は梅、3月は菜の花…。毎月違うデザインで、とてもかわいい。これを髪につけたくて私も舞妓さんになったのかも(笑)。



MAKOTO

Profile 京都・祇園で芸妓「真琴」として活躍した後、2013年に引退。ミュージシャン、ラジオのDJ、テレビのレポーターとしても活動中。好きなデニッシュは「くるみキャラメル」。



(左) 祇園の街のシンボル、赤い提灯。(上) 店頭ディスプレイにも、京都らしさ、祇園らしさを感じるチャームが飾られています。

AFTERNOON DELIGHT のMEMEがおすすめする、春から初夏のサウンド

AFTERNOON DELIGHT
●毎週月曜日～木曜日 14:00～17:00 DJ: MEME
Blooming heart(15:00～15:10)
曜日ごとにバラエティにとんだ話題を“真心をかたち”をテーマにお送りしています。木曜日はリスナーからのメッセージをご紹介します。



リスナーの午後のひと時をリラックスさせてくれる FM COCOLOの番組、AFTERNOON DELIGHT。そのパーソナリティーが MEMEさん。番組の中でかける音楽は季節感はもちろん、その日のお天気や、世の中の気分も大切にチョイスしているそう。春から初夏にかけては、どんな選曲を心にかけていますか? 「春は草木が芽吹き、生命力溢れる季節。また、出会いや別れが交錯し、喜びと切なさが入り混じるシーズン。躍動感を意識しつつ、デトックスや清涼感も大切にしています。夏はグルーブ重視。ときに激しく、ときに涼しく」。この春から初夏にかけて、番組でも選曲するかもしれない、MEMEさんお勧めのアルバムを3枚ご紹介します。



1.Esquivel [cabaret manana]
●毎週月曜日～木曜日 14:00～17:00 DJ: MEME
●毎週日曜日 19:00～19:30 DJ: MAKOTO



MEME

Profile 京都出身、音楽にあふれた国際的な環境で育ち、英語、中国語、日本語を話すトリリンガル。好きなデニッシュは「Dojjiフロマージュ」。

GRAND MARBLE JOURNAL

グランマールは、夢を追いかける人を応援します

[Surfing for all がんばろう日本!] JPSAジャパンプロサーフィンツアー-2014 ショートボード第7戦(最終戦) 24SURF presents 鴨川 naoプロ supported by GRAND MARBLE

賞金総額は450万円。JPSA(日本プロサーフィン連盟)主催の大会、JPSAジャパンプロサーフィンツアー-2014 ショートボード第7戦(最終戦) 24SURF presents 鴨川 naoプロ supported by GRAND MARBLEが、千葉県鴨川市、マルキポイントにて開催されました。大会タイトルにもなっているnaoプロ(小川直久さん、LDH所属)は、若手優勢のプロサーフィンの世界で、40歳を過ぎてでも優勝に向けてチャレンジを続けている鴨川在住のトップサーファー。グランマールは、夢を追いかける人を応援したいという想いで、このイベントに協賛しました。



大会は2014年10月に開催され、小川直久プロが所属するLDHのAハレルブランド「24SURF」がサポート。写真は男子ファイナリスト。優勝者には副賞としてマールデニッシュ1年分が贈られました。

